

ACANTHUS NEWS



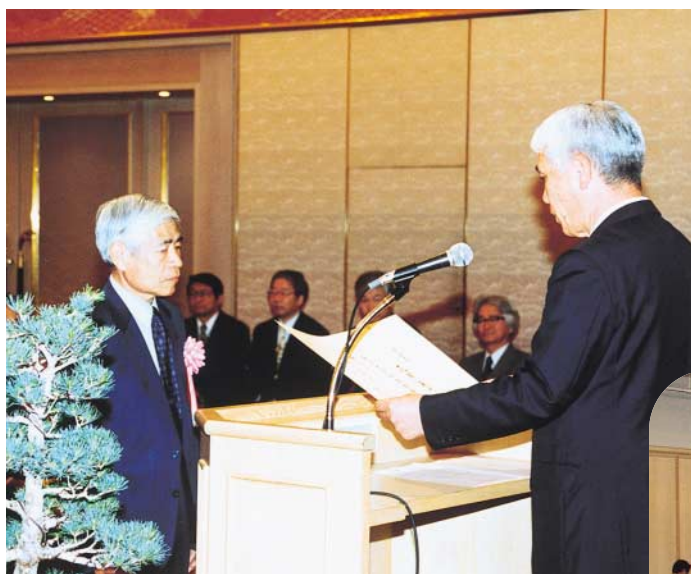
「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成14年 **2002.6**

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第69号

新名誉教授に称号記を授与

TOP NEWS



林学長から称号記を授与される新名誉教授
＝金沢市内のホテル

5月31日、市内のホテルで名誉教授称号記授与式及び懇談会が開かれた。本年度新たに名誉教授となった18名(当日出席者15名)に称号記が授与された後、引き続き催された懇談会に出席の約70名の名誉教授が新名誉教授を歓迎した。

林勇二郎学長は称号記授与式で本学の現状等を報告し、教職員の努力に対する名誉教授各位の支援を要請した。

川口恒子名誉教授による乾杯の音頭で始った懇談会では、和やかな雰囲気の中で1年ぶりの再会をよろこび合う姿が多く見受けられた。(関連記事6頁)



懇談会であいさつする林学長
＝金沢市内のホテル

地域貢献推進室が始動！

5月17日付けで金沢大学地域貢献推進室(室長＝中村信一副学長)が設置されたことに基づき、5月29日、事務局特別会議室で「金沢大学・石川県・金沢市連絡協議会」の初会合が開催された。中村室長は、自治体との連携をより一層強化し、地域のニーズにあった共同事業を推進し、地域社会に貢献したい旨あいさつした。



自治体との初会合であいさつする中村副学長
＝5月29日、事務局特別会議室

巻頭言

国立大学法人へ向けて



事務局長
大島 有史

国立大学法人への移行は、平成16年4月と想定されます。あと2年に満たない短い期間での法人化を円滑に進めるため、国レベルからそれぞれの大学レベルまで、様々な段階での作業分担を行いつつ法人化の準備を進めていくことになります。

金沢大学においては、角間の第Ⅱ期総合移転計画と附属病院の再開発が進行中であり、学部と大学院の再編や近隣の国立大学同士の連携推進等重要課題が山積しています。その中で法人化は、これらの課題の取組みに役立つ形で進められなければならないと考えます。微力ではありますが、伝統ある金沢大学の一員としてお役に立てればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

文化庁の国語課にいた頃のことですが、例えば森鷗外の「鷗」がパソコン等では「鷗」としか打ち出せないこと、仮に両方を打ち出せたとしても、どちらを標準と考えるべきかということが問題となりました。常用漢字表の制定により、戦後の漢字表記をめぐる論争に決着がつけられたと思われていましたが、パソコン等の急速な普及によって表外の漢字の使

用が日常化し、そこにパソコン等のよりどころであるJISの問題が加わって、一般の書籍類で用いられている形と一般に普及したパソコン等で用いられている形との間に不整合が生じてしまったのです。常用漢字表以外の漢字は数が多く、字体選択のよりどころをつくる作業は難行することが心配されました。この問題の処理には6年間かかり、私は3年間で異動となりましたが、幸いにも資料作成と審議内容の整理など複雑な事務処理をほとんど一人でなした国語調査官のおかげで国語審議会は漢字字体のよりどころの作成とJIS改正の目的をたてることができました。この調査官の「完遂力」にはただ脱帽あるのみです。

これからの法人化の作業においても、最後のよりどころはこのような「人の力」です。ただし、これは有限でありそのような意味で「貴重な資源」とも言えます。極力ムダ使いを排除するためにも、国やブロック等いろいろな段階での役割分担を前提にして取り組むべき事項の洗い出しを行い、効率的に仕事を進めなければなりません。

さらに、何といってもやりがいのある仕事でなければ、この力は十分に発揮されることはないでしょう。同じことをやるのでも大学ごとに「ふさわしいやり方は色々」です。法人への移行は時期が来たら出来上がるというものではありません。金沢という地域と素晴らしい金沢人の知恵を結集した金沢大学らしい法人化こそ目指すものであり、そのための取組みは息の長いものになるでしょう。そこに法人化の面白味とやりがい、そして真の意義があると考えております。

目次

新名誉教授に称号記を授与	1	北陸地区初任者研修	8
地域貢献推進室が始動！	1	ー教育学部特別講演会ー	
巻頭言「国立大学法人へ向けて」		ヒトラーによるスポーツ利用政策の教訓	8
事務局長 大島 有史	2	ー交通安全講習会ー	
第20回六大学法文系事務長会議を開催	3	交通事故の犠牲者・加害者とならないように	8
角間Ⅱ期工事の進捗状況を視察	3	「ふれあい看護体験」	9
第2回北陸地域アイソトープ研究フォーラム	4	外国人留学生のためのホームビジット事業を実施	9
電子情報通信学会集積回路研究会	4	男子バスケットボール部が2連覇	9
米国におけるFDと医学教育の現状		本学へのお客さま	10
ー短期海外調査報告会ひらくー	4	「健寿会」総会・懇親会ひらく	10
五嶋みどり レクチャーコンサート	5	一般市民を対象にミニ講演会	
ふじだな おとぎ会	5	「がんの睡眠療法」	11
附属学校で運動会	5	大学教育開放センター公開講座はじまる	11
就職支援室から	6	「角間の里山自然学校」から	12
平成14年度新名誉教授	6	キャンパス点描	12
留学生による茶花体験	7	編集後記	12

ニュースの杜

第20回六大学法文系事務長会議を開催

5月23日、本学を当番大学として、金沢市内のホテルで第20回六大学法文系事務長会議（千葉大、新潟大、岡山大、香川大、熊本大及び金沢大）が開催され、事務一元化・集中化実施後の状況、法科大学院構想、国立大学法人化に向けた各大学の取組み課題等が協議された。



六大学法文系事務長会議の様子
＝金沢市内のホテル

角間Ⅱ期工事の進捗状況を視察



田上口（仮称）付近

5月15日午前、角間Ⅱ期工事と里山ゾーンの散策路を学長、副学長、事務局長等が視察し、施設部から工事の進捗状況について説明を受けた。



南地区高台からの眺望

附属学校

五嶋みどり レクチャーコンサート



世界の音に聴き入る児童
＝附属小学校体育館

5月20日、附属小学校の永年の念願がかない、世界的バイオリニストの五嶋みどりさんが理事長を務める「みどり教育財団」主催の第10回レクチャー・コンサートの開催が実現した。コンサートのテーマは「出会い」。4年生以上の児童約340名が間近で奏でられる世界の音に聴き入った。



ふじだな おとぎ会

毎年5月の連休明けのころ、満開となった校庭のふじ棚にまん幕を張り、多くの保護者の参観のもと、ふじだなおとぎ会が開かれる。その歴史は古く1889（明治22）年にさかのぼり、附属小学校を象徴するものの一つになっている。

本年は5月13日、14日に行われたが、惜しくもふじの開花が終った後であった。



ふじ棚の下で昔話を発表する児童
＝5月13日、附属小学校

附属学校で運動会

5月25日から6月6日にかけて、教育学部附属学校の養護、小、中、高校で運動会が順次行われ、それぞれの学校では、元気な児童・生徒の姿があった。



＝5月25日、附属養護学校



＝6月6日、附属高等学校

＝5月30日、
附属中学校



＝5月29日、附属小学校

研究会等

第2回北陸地域アイソトープ
研究フォーラム

5月14日、医学部十全講堂で「第2回北陸地域アイソトープ研究フォーラムーヒトゲノム解析の最前線ー」が開催され、約400名が参加した。

このフォーラムは、科学技術・研究開発の推進と安全の両面について幅広い視点から理解を深めてもらうことを目的として開催されたもので、榊佳之東京大学医科学研究所附属ヒトゲノム解析センター教授が「ヒトゲノム解析の最前線」と題して講演した。



講演する榊教授
＝医学部十全講堂

電子情報通信学会
集積回路研究会

5月23日、24日の両日、電子情報通信学会主催の平成14年集積回路研究会5月研究会が、附属図書館を会場に開催された。全20件の発表のうち、2002年度のISSCCで話題を集めたMPEG応用システムVLSI関連の6件の論文とパネル討論が注目を集めた。

オーガナイザは電気電子システム工学科吉本教授。
ISSCC：International Solid State Circuit Conference（VLSIのオリンピック）



研究会のパネル討論会の様子
＝5月24日、附属図書館AV室

米国におけるFDと医学教育の現状
ー短期海外調査報告会ひらくー

平成13年度学長裁量経費「短期海外調査派遣事業」により実施された訪米調査団の報告会が、教職員40名が出席して、5月24日事務局大会議室で開催された。

工学部の川西琢也助教授が「米国におけるファカルティディベロップメントと遠隔地学習の実態」について、また医学系研究科の多久和陽教授が「医学教育改善のための環境整備」について報告し、意見交換が行われた。



米国の大学におけるFDの報告に耳を傾ける出席者
＝事務局大会議室

就職支援室から

今年3月14日、大学会館にオープンした就職支援室には毎日大勢の学生が就職相談に訪れ、懸命にパソコンや会社案内書等で企業からの求人情報を検索している。

就職支援室の3名の専任スタッフは、主に3年生と4年生を対象にした情報の提供、就職相談と併せて、就職ガイダンスやミニ講座を年に20回以上開催し、学生の就職を強力にバックアップしている。



主な就職ガイダンス（平成14年度予定）

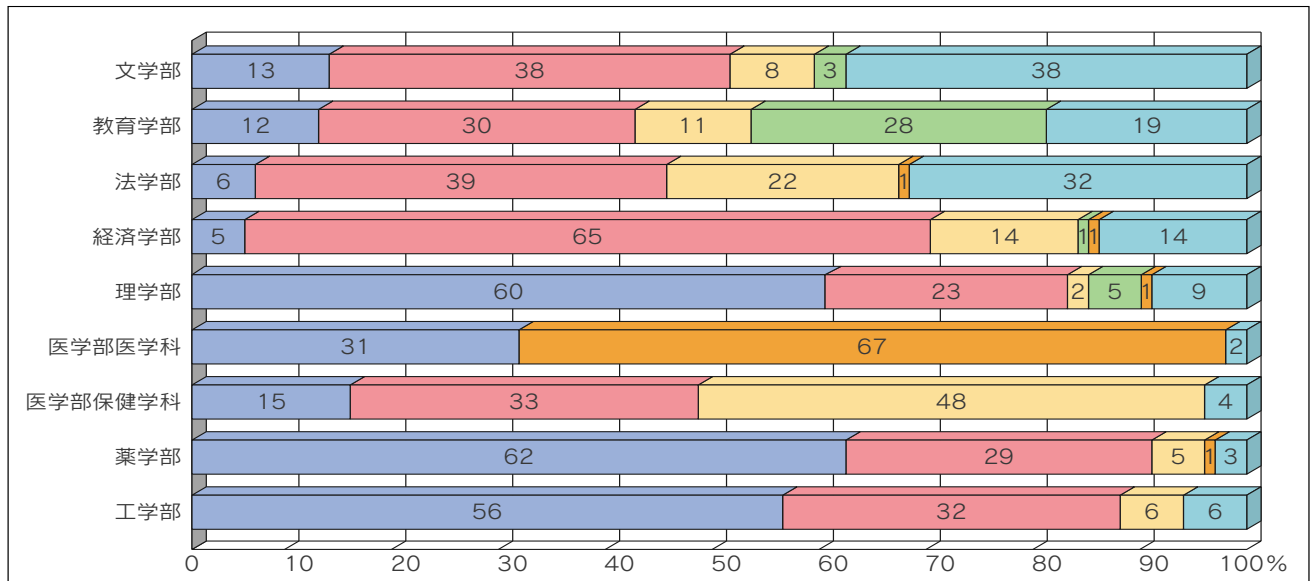
	開催時期	内 容
企 業	7月	就職活動の心構えと進め方（基礎編）
	10月	就職活動の進め方（アドバンス編）
	10月	理系進路ガイダンス
	11月	女性の就職環境と生き方
	11月	企業研究と採用動向
	12月	エントリーシート・面接成功のポイント
	12月	先輩と語る（内定学生による体験発表と質問会）
インターネット	10月	就職情報サイトの活用法ほか
公 務 員	10月	公務員採用試験の傾向と対策
	11月	公務員任用制度及び募集内容について
教 員	10月	教員採用試験の現状と対策
	11月	教員採用試験の実情について（OB・OGによる体験談ほか）

平成14年度新名誉教授



式典に欠席の新名誉教授は、小林 勉（医学系研究科）、澤田達郎（工学部）、北原晴夫（自然科学研究科）の3氏

◆学部別進路状況（2002年3月卒業生）



留学生による茶花体験

5月28日、茶道習得中の留学生が茶花体験をした。村田泰恵講師の指導のもと、なかなかイメージどおりにならない花と悪戦苦闘しながらも、思い思いの作品に仕上げた。彼らにとって初夏の日本の草花に触れるよい機会となったようで、可憐な花の色と香りに感激する声も聞かれた。

作品は留学生課前のカウンターに並べられ、職員や学生達の目を楽しませている。



留学生、茶花に初挑戦
＝学生部留学生課前のカウンター

研修等

北陸地区初任者研修

5月21日から24日まで、北陸地区の国立大学、高専等の新規採用職員（9機関から42名）を対象として、本学と辰口共



ゲームを交えて応接マナーを学ぶ受講者
＝5月21日、辰口共同研修センター

同研修センターを会場に初任者研修が実施された。

開講式で大島有史事務局長は、公務員としての心構えをしっかりと身に付け、多くの仲間と親睦を深めるよう、受講者を激励した。



熱心に聞き入る受講者
＝5月21日、事務局大会議室



講演するクリューガー博士と
メモをとりながら熱心に聞き入る出席者
＝大学会館大集会室



－教育学部特別講演会－ ヒトラーによる スポーツ利用政策の教訓

教育学部主催・大学改革推進室後援の特別講演会が5月28日、大学会館大集会室で開催され、ドイツのゲッティンゲン大

学スポーツ科学研究所長のクリューガー博士が「オリンピックと政治」と題して、戦前ドイツのオリンピックを利用した国際政治の果たした役割と歴史的教訓について講演した。

－交通安全講習会－ 交通事故の犠牲者・加害者とならないように

本学学生による交通事故が多発しているため、金沢中警察署から講師を招き、文学部、法学部、経済学部の学部生及び大学院生約70名が出席して、5月22日、文・法・経A101講義室で交通安全講習会が開催された。



交通安全について指導する金沢中警察署員
＝文・法・経A101講義室

トピックス

「ふれあい看護体験」

「看護の日（5月12日）」を中心とした看護週間に、「ふれあい看護体験」が実施された。医学部附属病院では、大人も子どももみんなが互いを思いやり、世話すること、看護することに関心と理解を深めることを目的に、5月11日に3組の親子（2組がお父さんと息子）が、5月14日には2人が、看護体験に参加した。



新しい「いのち」を見つめる看護体験の親子
=5月11日、医学部附属病院



ひきやま
曳山ひきを楽しむ留学生
=5月11日、小松市内

外国人留学生のための
ホームビジット事業を実施

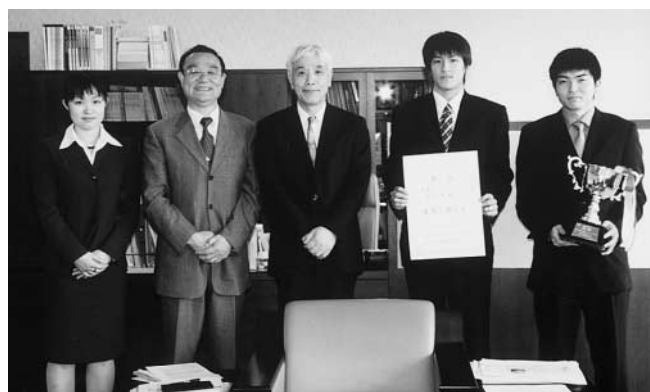
5月11日、12日の両日、外国人留学生に日本人家庭の日常生活や伝統文化等を体験することにより日本語や異文化への理解を深めることを目的として、恒例の外国人留学生ホームビジット事業を実施した。

今回は、外国人留学生22名が参加し、那谷寺を見学したり、お旅まつり（小松市）で曳山^{ひきやま}をひいたり、茶道に挑戦した後、ホームステイを通じて日本人家庭との交流を楽しんだ。

男子バスケットボール部が2連覇

第15回全国国公立大学バスケットボール交流大会が、3月28日から30日まで、広島県立総合体育館で開催され、本学の男子バスケットボール部は決勝で島根大学を82-73で下し、2年連続2度目の優勝を飾った。

このほど、主将ら3名が部顧問である石村宇佐一教育学部教授とともに学長室を訪れ、林学長に優勝報告した。



優勝報告した、左から白鳥利恵マネージャ、石村教授
右から藤井喜大副主将、牧野昌輝主将
=5月31日、学長室

学長室等から

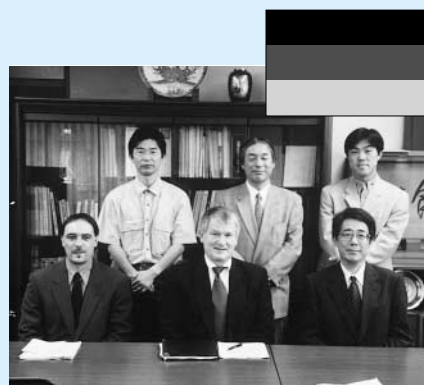
本学へのお客さま



(右から2人目) アルバニア共和国
ジャニ大使
=5月14日, 学長室



(右) アメリカ合衆国
廣瀬龍夫ハーバード大学医学部教授
=5月27日, 学長室



(前列中央) ドイツ連邦共和国
A. クリュエガー ゲッチンゲン大学教授
=5月28日, 教育学部長室

「健寿会」総会・懇親会ひらく



5月23日, 金沢大学の退職者(教官を除く。)で組織されている「健寿会」(会長=林勇二郎学長)の平成14年度総会と懇親会が金沢市内のホテルで開催され, 70名を超える会員が出席して和やかに旧交を温めた。総会では市村副会長(元医学部事務長)の開会あいさつの後, 林学長が「大学改革」, 「独立行政法人」及び「II期移転」等の現状や取組みを説明し, 会員の理解と支援を要請した。また, 米寿・喜寿・古希の寿盃が計39名に贈られた。懇親会では, 湯口総務部長等現職の部課長等も加わって歓談, 歌や踊りの余興もでるなど終始和やかな内に幕を閉じた。

総会であいさつする林学長



健寿会会員の皆さん
=金沢市内のホテル

サテライト・プラザ

一般市民を対象にミニ講演会 「がんの休眠療法」

5月10日、金沢大学サテライト・プラザで一般市民を対象にミニ講演会が開催され、高橋豊がん研究所助教授が「がんの休眠療法ーがんと長く共存して天寿を全うする」と題して一時間半の講演を行い、約50名が聴講した。



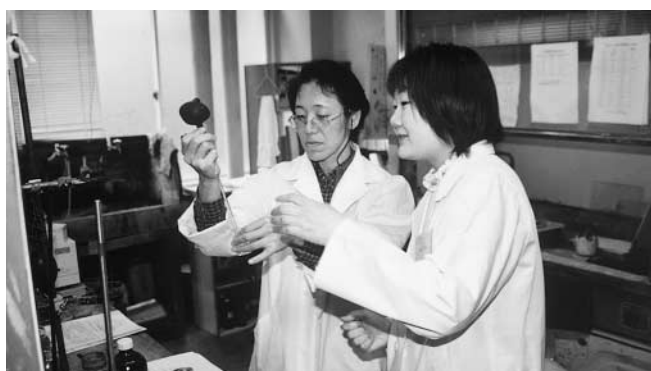
講演する高橋助教授
＝金沢大学サテライト・プラザ（2階）



大学教育開放センター公開講座はじまる



「地域スポーツ」を考える
＝5月9日、金沢大学サテライト・プラザ



薬を作る体験をしてみよう
＝5月11日、薬学部薬化学研究室



オスティナートを楽しんでみよう
＝5月11日、教育学部芸術棟音楽演習室・音楽ホール



剣道
＝5月18日、第2体育館（角間キャンパス）



コーヒー学入門
＝5月25日、大学教育開放センター



「角間の里山自然学校」から

5月25日は定期保全活動日でした。

30名をこえる会員が集まり、水田復活作業と昆虫観察を実施しました。水田復活作業では、3回にわたって実施した第1号水田の作業がほぼ終了しました。また、水田周辺の道路補修も行いました。

水田復活作業地周辺で昆虫の採取観察も実施しました。この成果は後日報告されると思いますので、楽しみにしてください。

また、この日は「角間の里山メイト」主催ではじめての共同イベントが行われました。

吉崎佐知子さんをリーダーとする里山メイト有志は、ホ

オの木葉を使った「ホオ葉メシ」作りを行い、保全活動等終了後に参加者全員で試食会をしました。ホオ葉の香るホオ葉メシはセリのみそ汁とともに大変好評で、次回の企画が楽しみという参加者の声も聞かれました。



谷戸（やっと＝水田）を復元する里山メイトの皆さん

キャンパス点描

ウスバシロチョウ



5月15日午前、里山

編 集 後 記

今月号は、名誉教授称号記授与式・懇談会、健寿会総会・懇談会など本学に貢献された方々に関する行事が主な掲載記事となりました。

昔人生50年、今人生80年と言われていますが、人生をゴムにたとえて、今と昔の平均寿命の年齢比較をすると、現在の60歳は昔の約38歳に相当し、大学入学年齢を18歳とすると約11歳になり、現在の公開講座（生涯学習）、大学、大学院等への進学率等が増加し、精神年齢等の社会変化を取材をとおして強く感じました。

今後、社会変化に対し、ゴムのように弾力的、柔軟に対応していかなばならないと思います。

（総務部企画広報室広報係長 橘 幹宏）

平成14年6月21日発行
（原則として毎月1回第3週に発行）

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5009
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉
（アドレス＝<http://www.kanazawa-u.ac.jp>）でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール（E-mail）＝general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。